

法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、400字以内で説明しなさい。

- ・方法の錯誤

II 次の事例における甲と乙の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く。）。

遊び仲間の甲（男、20歳）と乙（男、20歳）は、甲所有の普通乗用自動車（以下、「甲車」とも言う。）を甲が運転し、その助手席に乙が同乗して二人で走行中、温泉旅行に行こうという話になり、手っ取り早く旅行費を稼ぐために通行人から金品を奪うことで意見がまとまった。そして、相談の上、甲が歩行者の右に甲車を寄せて徐行し、乙が助手席側の窓から手を伸ばして歩行者の不意に乗じてその持ち物を奪うという手順を決めた。その後、適当な相手を物色しながらしばらく走り回っていた甲等は、人通りの少ない路上の前方を右手に鞆をぶら下げて歩いているX（男、50歳）の姿に気付いた。二人はこれを目標と定め、甲が車を低速で接近させ、Xの右横に来た時に乙が窓から身を乗り出してXの鞆に手を掛けた。しかし、Xから一喝されたため、乙は怖気付いて鞆を奪うことなく車内に引込み、その様子を見た甲は諦めて車を加速し、Xから走り去った。

甲は新たな標的を見つけて計画を続行しようと言いつ張ったが、乙はXの件で自信を喪失したことや、Xが警察に通報したかも知れないとの懸念から、計画の中止を主張した。しかし、甲が聞き入れないと見るや、それ以上説得するのを断念し、甲車が赤信号で停車した時に、自分は抜けると言い残して降車した。甲は乙の弱腰に憤慨し、絶交を決意して一人で遊興することにしたが、いずれにせよ資金が必要なことから、当初の計画に修正を加えて単独で実行することにした。そこで、乙が去った約5分後、一人歩きのY（女、50歳）の左横に甲車を停止させると、窓ガラスの開いている窓越しに「おい」と語気鋭く呼び掛けた。そして、Yが驚いて立ち止った際に運転席側の窓から右手を伸ばし、Yが左肘に掛けていたハンドバッグの紐を強く引張ってこのバッグを取り上げ、甲車を急発進させて逃走した。Yはそのバッグを奪われた際の衝撃で路上に転倒し、全治6週間を要する顔面挫創、右腕骨折の傷害を負った。